

平成 30 年 12 月 26 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

**私達が考える「税の使いみち」総選挙 2018**

**金沢法人会（石川）**

<活動対象> 小学 6 年生（11 校 29 クラス 958 名）

<活動の概要>

- ・租税教室で「税の使いみち」について小学生同士で話し合った後に、宿題として持ち帰った「税の使いみちシート」を家庭で親と話し合い完成させ、「立候補」の形で提出。
- ・集まった「立候補」の中から、一次選考を通過した小学校 10 校より選出された代表者各 1 名がプレゼンを実施。来場者全員による「総選挙（投票）」を行いグランプリを決定。
- ・今までの一方通行型の租税教室でなく、多くの大人たちにも繋がる租税教室を一貫したテーマとして開催。
- ・授業で税の使いみちについて皆で考える時間を設け、家庭で親に自分の考えを伝え、家族と一緒に考えることで多くの大人たちとも繋がる事業となった。

<参考資料>

私達が考える「税の使いみち」総選挙 2018 ～繋がる租税活動～ 事業概要

<摘要>

特になし

<出典>

平成 30 年度租税教育活動プレゼンテーション（岐阜大会）より



総選挙の様様

会場では選考で選ばれた10名によるプレゼンが行われました。大勢の観客の皆さんに自らのアイデアをアピールしてもらいました。自分の作品に投票してもらえよう、子供たちはみんな真剣に訴えます。



10名の子供たちがグランプリをとるために300名の前で勇気を振り絞りプレゼンを行いました。そこで多くの大人と繋がりました。全員がアピールを行った後、観客の皆さんによる投票が行われました。

投票の結果、グランプリを含む各賞を表彰しました。こちらは表彰式の模様です。当日は金沢税務署署長にもご出席いただき、税務署長賞を一つ選んでいただきました。



イベント当日は、大雪だったにもかかわらず多くの方に参加いただきました。当日は総選挙以外にも、子供達に参加するクイズ大会や、税についてのビデオ上映も好評でした。

新しい租税活動のテーマ「つながる租税活動」

新しい租税活動の概要



青年部会から小学生への一方的な租税活動からの脱却をめざし、家庭や社会の大人たちも巻き込んだ新しい租税活動を目指しました。

そのためのツールとして考えたのが「税の使いみち」総選挙です。

総選挙までの流れ

まず小学校で授業を行い子供たちに税の使いみちについて考えてもらいます。

次にそれを家に持ちかえり、親と話し合った税の使いみちを学校に提出し、「立候補」となります。

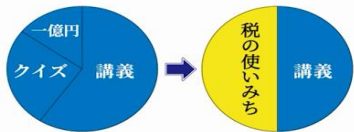
その中から10作品を選抜し、最後に総選挙イベントで集まった大人たちの前でプレゼンしてもらい、投票の上、グランプリを決めます。



しかし今回の事業での一番のポイントは  
この総選挙イベントではありません！！

# 事業成功へのポイント

## 新しい租税教室の時間構成



先生や友達、青年部メンバーと一緒に考え、話し合い、「税の使いみち」を考えます。

私たち青年部会員は子供たち同士が活発に議論できるように手助けします。

大人の考えを押し付けるのではなく、子供たちの意見を引き出してあげることが重要です。

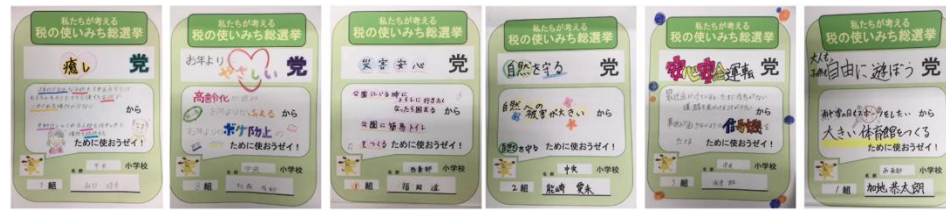
まず小学校での授業の内容を変えました。

講義だけでなく、時間の半分を子供たちと一緒に税の使いみちを考える時間としました。



- まとめの言葉
- 親と一緒に考える宿題
- 自分の考えを親に伝える

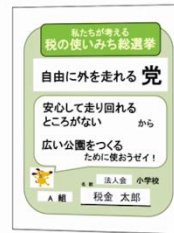
**青枠の部分**は子供たちが自ら考え、この用紙を家に持ち帰り、**赤枠の部分**は親と一緒に考えてもらいました。宿題にした理由は、党名を一緒に考えるには子供たちは今日学校でどんなことを学んだかを親に伝えなければならぬからです。



子供たちが一生懸命考え、宿題として提出されたグランプリ立候補は最終的に750余りに上りました。つまり、750もの家庭で、親子で「税の使いみち」を考える時間を持つことになったということです。

**金沢法人会青年部会が目指す新しい租税教室、それは子ども、家庭、そして多くの大人たち、このすべてを繋ぐそんな租税教室です。**

## 一枚の立候補用紙



そして私たちの租税活動を大きく変えたのは、  
 ①1枚の立候補用紙と、  
 ②「税の使いみち」を考える時間を授業の後半で作り出したこと、  
 ③そして家庭への宿題にしたことです。  
 このたった3つのことが子どもから家庭、そしてより多くの大人へ繋がる活動に導いてくれました。

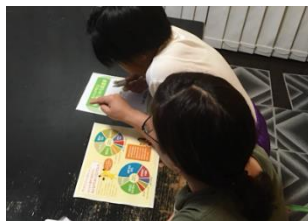
## ここがこの事業での一番のポイントです

党名を一緒に考えることで、親と子どもが繋がります。

子供たちは家庭で教えることで再度学びます。

この宿題を通して、子どもと大人をつなぐ考える時間が、多くの家庭でもたれました。

大人たちも真剣に「税の使いみち」について考えました。



この活動のベースになったことは子ども達の「自ら考える力」「家庭へ伝える力」「大人へ発信する力」です。子ども達が持つ、清らかなその秘めた力を引き出すことが感動を呼び、大人たちに繋がります。

## ご報告

**全国青年の集い岐阜大会 租税教育プレゼンテーション(11/8)にて、金沢法人会青年部会が最優秀賞を受賞致しました。**

